

「高等学校等就学支援金制度等及び高等教育の修学支援新制度の周知について」（令和 8 年 5 月 日付け 8 文科初第 644 号、初等中等教育局長ほか通知）別添資料 3「小学校段階から大学段階までの修学支援リーフレット」について（Q & A）

Q 本資料作成の趣旨について。

（A）

本資料は各修学支援制度について、制度の対象でありながら制度を利用していない方が一定程度いる状況を踏まえ、申請が必要な制度についてきめ細かな周知が可能となるよう、取組の実施主体や各学校段階の枠組を超えて修学支援に関する取組を周知することを目的とした資料です。なお、作成にあたっては、こども家庭庁が実施する「こども若者★いけんぷらす」で、修学支援策の周知方法の工夫について、子ども若者から聴取したアイデア・意見を反映して作成しています。

（参考）教育にかかるお金の支援があることを知ってもらうには？

-こども若者★いけんぷらす（こども家庭庁 HP）

<https://ikenplus.cfa.go.jp/square/4C1WWBABH>

Q 本資料を必ず活用しなければならないのか。

（A）

本リーフレットは小学校段階から大学段階までの修学支援策をまとめて周知する際の参考例としていただくことを想定しているものであり、必ず活用しなければならないものではありません。

一方で、支援の対象でありながら制度を利用していない方が一定程度いる状況にあり、制度の認知が十分でないことも考えられることから、経済的理由によって児童生徒等が進学をあきらめたり、将来の選択肢を狭めたりすることがないように、初等中等教育段階から高等教育段階を通じた支援があることをできるだけ分かりやすくお示しする観点から、子ども若者からの意見を基に作成した資料ですので、できるだけご活用いただきたいと考えています。

Q 本資料の使用方法如何。

（A）

まず各都道府県において実施している独自の修学支援の取組を追記いただいた上で、市町村教育委員会等に配布いただき、その後、市町村教育委員会等の独自の取組を追記いただくなど、都道府県と市町村で協力して活用いただくことを想定しています。

Q 資料上部の【自治体クレジット・ロゴ記載】のスペースはどのように活用すればよいか。

(A)

当該スペースは、「こども若者☆いけんぷらす」での意見聴取において、こども若者から、周知資料では発出元を示すべきとの意見が示されたことを反映したものです。事業を追記した自治体のロゴマークや名前等を記載いただくことを想定しています。

Q どういった事業等を追記すればよいか。

(A)

本資料は各修学支援制度について、制度の対象でありながら制度を利用していない方が一定程度いる状況を踏まえ、申請が必要な制度についてきめ細かな周知が可能となるよう作成したものです。国の取組については、申請が必要なものを原則として記載していることを踏まえご検討ください。

Q 用意されている枠以上に周知したい自治体独自支援がある場合、枠を追加してかまわないか。

(A)

本資料の活用にあたっては、枠線を追加したり、文字の大きさを拡大縮小したりして頂いて差し支えありません。ただし、イラスト画像については、削除いただく分には差し支えありませんが、文部科学省のロゴを含め、画像自体の変形・加工はしないようにしてください。

Q その他問合せ内容がある場合、どこに問合せすればよいか。

(A)

以下リンク先から問合せフォームにアクセスの上、必要事項のご記入をお願いします。

(問合せフォーム) : <https://forms.cloud.microsoft/r/Ljs57Pwya8>

回答については以下のリンク先にてまとめて公表させていただきますのでご確認ください。質問の内容によっては回答までお時間を頂戴する場合がありますので予めご了承ください。

(回答公表先) : <https://mext.box.com/s/rlzyhsbv0lk4ovypce1llen7wqqom01i>

閲覧 PW : Shuugaku05!

本件担当 : 文部科学省初等中等教育局高等学校振興課高校修学支援室修学支援企画係

問合せ先 : <https://forms.cloud.microsoft/r/Ljs57Pwya8>